

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

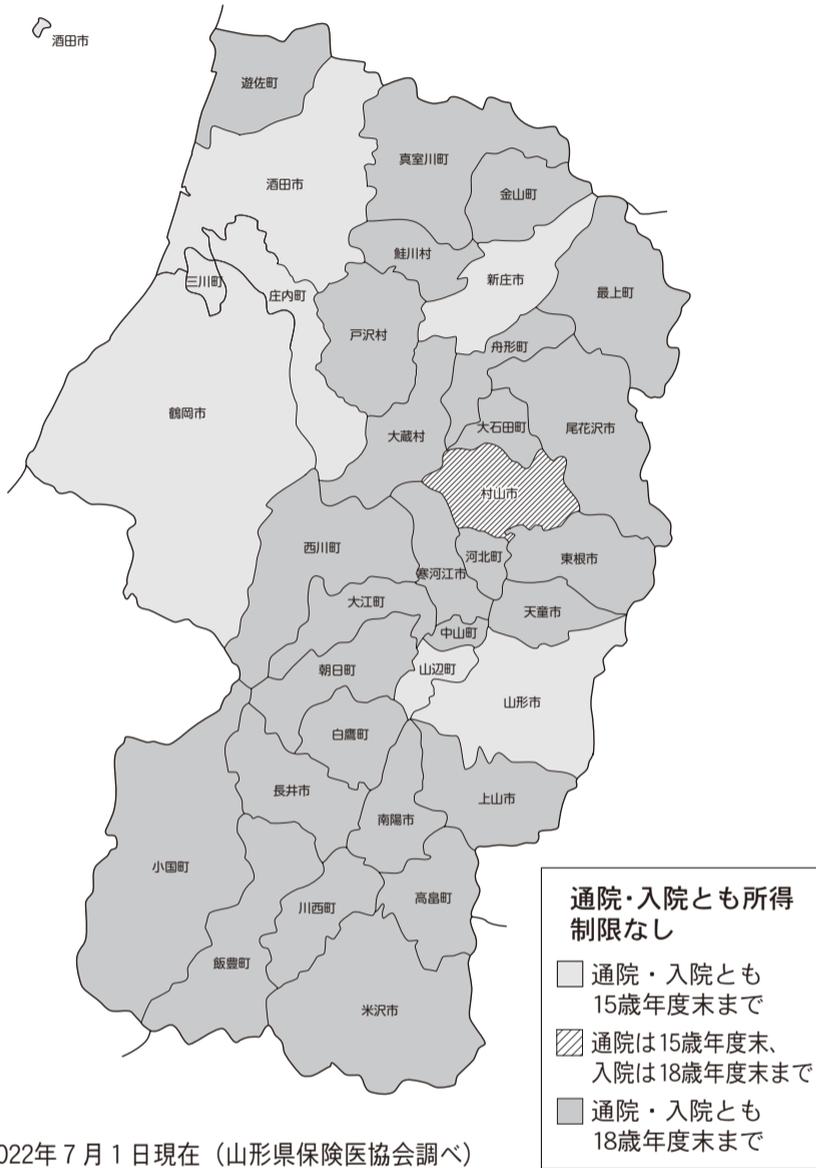
発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 円共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第514号

9月号 TOPICS

秋のPR号

今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

2022年 山形県子ども医療費助成状況



協会は、県と県内市町村に対し、今年7月現在の子ども医療費助成状況についてアンケート調査を行った。調査は毎年実施し、結果を自治体への要請などに活用している。

県では、2013年10月から入院は15歳年度末まで、2014年7月から通院は小3まで対象年齢を引き上げられているが、それ以降引き上げは行われていない。今回の調査でも、現在拡充の予定はないとの回答だった。

一方市町村では、2015年に県内すべての市町村で入院・通院とも15歳年度末まで医療費無料を達成。今年新たに4月から長井市、南陽市、7月から上山市、18歳まで無料となり、18歳まで何らかの医療費助成が行われているのは県内35市町村中28市町村で、8割となった。2015年には18歳まで医療費無料は県内で遊佐町だけだったが、この7年で大きく広がった。

また、舟形町ではこれまで16〜18歳年度は償還払いだったが、今年4月から現物給付に変更された。協会が加盟する県社会保険推進協議会などが毎年粘り強く行っている自治体への要請が実を結んでいる。

18歳まで医療費無料となっていないのは、山形市、鶴岡市、酒田市、新庄市、山辺町、三川町、庄内町の7市町。村山市は16〜18歳年度は入院のみ償還払いで助成している。高校生は学校の健診で要受診となっても、医療機関を受診していない割合が高い。

2022年 県内自治体調査

18歳まで子ども医療費無料

県内8割に広がる

秋のPR号

ぜひご入会ください

入会の申し込み、共済資料のご請求は協会ホームページから



改定半年で新設点数廃止

電子的保健医療情報活用加算

9月末で廃止

8月10日、中央社会保険医療協議会(中医協)は、オンライン資格確認に関する診療報酬上の評価を議論し、4月の診療報酬改定で新設された「電子的保健医療情報活用加算」を9月末で廃止し、初診時にオンライン資格確認による患者情報取得の効率化を考慮した新たな評価として「医療情報・システム基盤整備体制充実加算1・2」を新設し10月1日より適用するとした。

(詳細は3面に掲載)

山形県保険医協会 第47回定期総会のご案内

日時: 2022年11月19日(土)
会場: 大手門パルズ3階 ホール霞城
山形市木の実町12-37

総会議事 16:00~17:00
(活動方針、予算・決算、役員選挙)

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民公開講演会と懇親会は中止いたします。会員の皆様への総会のご案内は10月上旬に発送を予定しております。

皆様お元気ですか。私は「共生」という言葉が好きです。動植物には寄生もありませんが、寄生には互いに意味があることが多く、結果的に外敵を防いでいるという報告もあります。生物には、共生するために「食欲・性欲・生存欲」が最低限必要であり、余裕があればさらに繁殖するために「支配欲・物欲・知識欲」が加わってくると考えられます。繁殖する場が限られている場合は自然淘汰されてきます。これはネズミを限定された枠内においての生育実験データにより示されています。それによると「不妊・同性愛・狂暴化・共食い・etc」の発生があります。過去に中国において「一人っ子政策」が行われ食料危機を遅らせたことがありました。日本では戦後の抗生剤の進歩による死亡率の減少、さらに人口の爆発的な増加で食糧難に陥りました。食料自給率は低下しましたが、国内で食料を準備供給しなければいけません。現在、日本は人口減少のため他国から人手を得ようとしています。食糧難を加速させる原因の一つになると考えられます。人が多くなり食糧難になると、他を支配し食料を搾取しようとするのが当然の結果となります。一部の国だけが利益を得ることも地球という枠内においては誤った考えであると思っております。(G)

